

令和2年度 南区社会福祉協議会事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な本会事業や各地区における活動の他、第4期南区地域福祉保健計画策定に向けた取組が一時休止となりました。

そのような中、「新たな日常」の視点でどのような支援や活動ができるかを試行錯誤し、進めていった一年となりました。

各地区においても、例えば食事サービスやサロン、子どもの居場所などを「集会型」から安否確認を踏まえた「訪問型」、「フードパントリー型」への変更、郵便や電話、SNSなどを活用するなど、「つながり」を途切れさせないよう、工夫を凝らした活動が展開され、その状況は、地域活動発表会においても、井土ヶ谷、六ツ川大池の両地区社協により、事例発表も行い、後日その様子が動画配信されました。

I 法人運営	3
II 広報啓発	11
III 研修事業	13
IV 地区社協活動の支援	16
V 生活支援体制整備事業・地域ケアプラザ支援	20
VI 地域福祉保健計画の推進	23
VII ボランティア活動支援・福祉教育・助成金	25
VIII あんしんセンター事業・移動情報センター事業・送迎サービス事業	34
IX 障がい関係事業・児童関係事業・高齢者関係事業	37
X 生活福祉資金貸付・生活困窮者自立支援施策への対応	41
XI 福祉保健活動拠点運営・団体事務	43

<重点取り組み項目>

1. 第4期南区地域福祉保健計画の策定（重点取組）【重点目標1, 2, 3, 4】
2. 地区社協の支援（重点取組）【重点目標1, 2, 3, 4】
3. 身近な地域のつながり・支えあい活動の推進【重点目標1, 2, 4】
4. 本会の会員施設・法人の支援活動財源の有効な活用（重点取組）【重点目標1, 2, 3, 4】
5. 権利擁護の推進【重点目標1】
6. 障害児者・高齢者の移動支援【重点目標1, 2, 3】
7. 災害ボランティアセンターの運営支援【重点目標1, 2, 3】
8. 事業推進体制の強化

【参考】事業推進における重点目標

1. 日ごろから声を掛け合い、つながり・支えあいの関係をつくろう
様々な生活課題を抱える人や支援が必要な人が地域から孤立しない仕組みづくりを地域住民や関係機関と共に進めます。
2. 誰もが活躍できる機会と身近な参加の場をつくろう
地域福祉団体や地域ケアプラザと協働して、新たな担い手を育成するため、地域住民やアクティブシニアを対象としたボランティア講座や活動紹介を行い、活動への参加を促します。
3. 日常の情報共有を進め、災害時にも安心できる備えをしよう
地区社協広報紙の充実を支援すると共に、災害ボランティアネットワークの活動周知と会員拡大に取り組みます。
4. 身近な活動を通して健康づくりを進めよう
地域の高齢サロン等で健康づくりを目的とした活動を取り込めるように支援します。

※記載されている決算の見方

（主な財源）今年度決算額【前年度決算額】



I 法人運営

1 法人運営

(1) 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会の開催

①理事会（4回※内、書面表決2回）

回数	開催日および承認日	人数	議案	結果
	開催場所			
第1回	令和2年6月9日（火）	11名	(1) 令和元年度南区社会福祉協議会事業報告について (2) 令和元年度南区社会福祉協議会収支決算報告について (3) 令和元年度監事監査報告について (4) 評議員候補者の推薦について (5) 評議員選任・解任委員会の招集について (6) 評議員会の招集について (7) 新規入会について	承認
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 書面表決			
第2回	令和2年9月9日（水）	9名	(1) 令和2年度補正予算案について (2) 令和2年度第2回評議員会の招集について (3) 正会員入会の承認について	承認
	トモニー多目的研修室			
第3回	令和2年11月16日（月）	9名	(1) 令和2年度第2回補正予算案について (2) 職員就業規程の改正について (3) 令和2年度第3回評議員会の招集について	承認
	トモニー多目的研修室			
第4回	令和3年3月3日（水）	11名	(1) 令和2年度第3回補正予算案について (2) 令和3年度事業計画及び一般会計収入支出予算（案）について (3) 令和2年度第4回評議員会の招集について (4) 評議員候補者の推薦について (5) 評議員選任・解任委員会の招集について (6) 経理規程等の改正について	承認
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 書面表決			



理事会

②評議員会（4回）

回数	開催日程	人数	議案	結果
	開催場所			
第1回	令和2年6月25日（木）	23名	(1) 令和元年度南区社会福祉協議会事業報告について (2) 令和元年度南区社会福祉協議会収支決算報告について (3) 令和元年度監事監査報告について	承認
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 書面表決			
第2回	令和2年9月25日（金）	18名	(1) 令和2年度第2回補正予算案について	承認
	トモニー多目的研修室			
第3回	令和2年11月26日（木）	16名	(1) 令和2年度第2回補正予算案について (2) 職員就業規程の改正について	承認
	トモニー多目的研修室			
第4回	令和3年3月24日（水）	23名	(1) 令和2年度第3回補正予算案について (2) 令和3年度事業計画及び一般会計収入支出予算（案） について (3) 経理規程等の改正について	承認
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面表決			



評議員会

③評議員選任・解任委員会（1回）

回数	開催日および承認日	人数	議案	結果
	開催場所			
第1回	令和2年6月9日（火）	4名	(1) 評議員の選任について	承認
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 書面表決			

(2) 監査会の開催

令和2年5月22日実施予定だった監事監査については新型コロナウイルスの感染拡大防止を理由に、郵送での監事監査の可否について会長及び監事全員の確認を得た上で、監事3名に対し、書面にて代えて実施しました。

その結果、業務執行、経理処理、財産管理が適正であることが承認されました。

2 会員の拡充、自主財源の確保 (正会費・賛助会費) 5,061 千円【4,983 千円】

(1) 正会員の加入促進

施設やボランティア団体等に加入を呼びかけました。引き続き、加入促進に取り組めます。

(2) 賛助会費の募集

各町内会のご理解をいただき世帯賛助会費を募集しました。区民や法人のみならずからいただいた賛助会費は、地区社協支援、広報紙作成事業費、区社協各分科会などに活用しました。

<正会員加入状況>

	令和元年度	令和2年度
団体・法人	202 団体	201 団体
個人	265 名	273 名



(3) 福祉施設分科会 寄付物品配分会

昨年度に引き続き、セブン-イレブン・ジャパンからの寄贈物品の他、資源循環局との協力によるフードドライブ品、本会善意銀行への寄付物品も一緒に配分を行いました。

配分品の内容は、飲料が 5 割程で、残りは生活雑貨や衛生用品、文具や清掃用品、衣料品等でした。

この配分品は各施設において、施設入居者や利用者、要援護者の支援等へ活用される予定です。

日時：令和 3 年 3 月 22 日（月）13：50～14：15

場所：南区福祉保健活動拠点 多目的研修室

参加施設数：23 施設

内訳：高齢者施設：1、児童施設：6、保護施設：2、

障がい関係：9、地域ケアプラザ：2、その他法人等：3



3 南区社協の事業推進体制強化【重点】

(1) 各種部会の開催、会員間の連絡調整

分科会	回数	日程	場所	人数	主な議題	結果
自治会町内会分科会	1回	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決	—	—	(1) 自治会町内会分科会（南区連合町内会長連絡協議会）分科会長及び副分科会長の選任について (2) 南区社会福祉協議会理事および評議員の選出について (3) 南区社会福祉協議会専門委員会委員の選出について	承認

民生委員・ 児童委員 分科会	10回	区民生委員児童 委員協議会と同 時開催 ※新型コロナウイルス感染拡大 防止のため一部 書面開催もあり	区役所 会議室	会長 16名	(1)生活福祉資金償還残高のお知 らせ配付、援助記録票の整備に ついて (2)共同募金街頭募金の協力依頼 について (令和3年2月17日のみ) 役員改選に伴う各種依頼事項 ①南区社会福祉協議会民生委員 児童委員分科会正副分科会長 の推薦について ②南区社会福祉協議会理事及び 評議員候補者の推薦について ③南区社会福祉協議会各種委員 会委員の選出について	承認
地区社会 福祉協議 会分科会	第1回	令和2年 10月23日(金)	トモニー多 目的研修 室	地区社協 16名、 局長他 計20名	(1)南区地域福祉保健計画につ いて (2)地区社協検討会について (3)市社協及び区社協主催研修 の参加について 他	承認
	第2回	※新型コロナウ イルス感染拡大 防止のため書面 表決			(1)正副分科会会長の選任につ いて (2)南区社協理事候補者の推薦に ついて (3)各種専門委員の選出について	承認
福祉関係 団体分科 会	1回	※新型コロナウ イルス感染拡大 防止のため書面 表決	—	—	(1)正副分科会会長の選任につ いて (2)南区社協理事候補者の推薦に ついて (3)各種専門委員の選出について	承認
ボランテ ィア市民 活動団体 分科会	1回	※新型コロナウ イルス感染拡大 防止のため書面 表決	—	—	(1)正副分科会会長の選任につ いて (2)南区社協理事・評議員候補者 の推薦について (3)各種専門委員の選出につ いて (4)令和3年度～4年度横浜市	承認

					社協 福祉ボランティア・市民活動部会委員の推薦について	
福祉施設 分科会	第1回	令和2年 11月19日(木)	新市庁舎 および本 会議場	施設部会会 員他 局長、担当	研修会 「横浜市における地域循環型社会と福祉施設」 講師：横浜市政策局共創推進課 担当係長 関口 昌幸氏	—
	第2回	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面表決	—	—	(1) 令和2年度施設部会事業報告及び収支決算について (2) 令和3年度施設部会事業計画(案)及び予算計画(案)について (3) 役員・企画実行委員・広報委員改選について	承認

(2) 各種委員会の開催

委員会名	開催日	人数	主な議題	結果
	開催場所			
南区福祉功労者顕彰審査委員会	令和2年9月9日(水)	8名	(1)南区社会福祉功労者顕彰審査について	承認
	トモニー多目的研修室			
南区ふれあい助成事業審査会(第1回)	※コロナウィルス感染拡大防止のため、書面表決	6名	(1)助成金審査基準について (2)助成金申請団体審査について (3)助成金配分について	承認
南区ふれあい助成事業審査会(第2回)	※コロナウィルス感染拡大防止のため、書面報告	6名	(1)令和2年度トモニー助成金配分結果について (2)令和3年度トモニー助成金配分案について	—
「社協みなみ」編集委員会(第80号)	※コロナウィルス感染拡大防止のため、中止	6名	第80号の紙面内容について(事務局作成)	—
「社協みなみ」編集委員会(第82号)	令和2年10月9日(金)	6名	第82号の紙面内容について	紙面の検討、編集
	令和2年11月30日(月)			
	トモニー多目的研修室			
南区ボランティアセンター運営委員会	令和2年8月7日(金)	10名	令和2年度善意銀行配分について	承認
	令和2年11月26日(木)	7名	・南区ボランティアセンター事業計画の確認について ・ボランティアセンター事業報告と今後の予定 ・南区善意銀行令和元年度配分について	承認
	令和3年3月5日(木) ※コロナウィルス感染拡大防止のため中止	—	・南区ボランティアセンター今年度の事業報告 ・次年度以降の善意銀行配分について	—

4 各種連絡会との連携や情報交換

- (1) ボランティア連絡会活動への支援
- (2) 南区障がい児者団体連絡会活動への支援
- (3) 南区食事サービス連絡会活動への支援
 - ① 連絡会の開催
- (4) 南区子どもの居場所づくりネットワークの運営

5 苦情解決への取組み

区社協が提供するサービス・事業への不満や苦情を積極的に受け止めるため、苦情受付担当者の掲示や窓口アンケートなどを行いました。アンケートの結果は、窓口に掲示し、振り返りを行っています。

申出・対応件数 0 件



Ⅱ 広報啓発

1 意識啓発事業

(1) 南区福祉活動功労者感謝の会開催 (共募配分金) 127 千円【177 千円】

南区内の社会福祉活動に貢献された個人・団体を表彰しました。
新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から歓談やミニコンサートの時間は設けず、授賞式のみで開催となりました。

- ①日時：令和2年11月13日（金）
14時～15時
場所：ARC横浜（浦舟福祉複合施設12階）
- ②福祉功労者顕彰 表彰 13（個人・団体）
感謝 1（個人・団体）
- ③区長、会長、受賞者、推薦者の方々と記念撮影



2 南区社協広報紙「社協みなみ」の発行

(共募配分金・基金果実) 2,589 千円【2,566 千円】

各地区社協をはじめとした地域活動のニュースや新しい情報を区民に伝えるため、年4回発行し、きめ細かく情報の発信をしました。

第79号・第81号はタウンニュースに掲載、第80号・第82号は各種部会・分科会から編集委員が参加し、紙面づくりを行いました。

- ①発行回数：年4回（第79号、第80号、第81号、第82号）発行
- ②発行月：令和2年6月、9月、11月、令和3年2月
- ③記事内容：「新しい生活様式の推進」や「コロナ禍でのつながり作り」などをテーマに、地域活動やボランティア活動を紹介するとともに、地域の福祉・保健情報などを掲載しました。
- ④発行部数：第79号・第81号：32,300部（新聞折込・区内公共施設）
第80号・第82号：88,650部（区内世帯に全戸配布）



3 南区社協ホームページの運営（共募配分金・基金果実）261千円【259千円】

福祉・保健に関する情報を提供するため、随時ホームページの更新を行いました。

なお令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活資金貸付事業の影響で、例年平均40,000件のアクセス数が大幅に増加しました。

アクセス件数 73,044件（年間）

<掲載内容>

- 南区社協って（財源・組織・会員）
- 活動内容（送迎・地区社協・福祉教育・善意銀行）
- イベントカレンダー
- ボランティアセンター
- あんしんセンター
- 福祉保健活動拠点
- 移動情報センター 他



4 南区福祉保健活動拠点（トモニー）のPR

例年、福祉保健活動拠点PRの一環として実施していた、浦舟複合福祉施設納涼祭、南なんデー、レインボーフェスタについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。併せて、南区社協マスコットキャラクター「トモニー」着ぐるみの活用も中止となりました。

5. 区内福祉施設の人材発掘・充実に向けた支援【重点】

（基金果実）0千円【157千円】

例年、福祉の仕事に関心のある方や福祉分野で働くことを希望している方を対象とした就職説明会「わかる！みつかる！ふくしの仕事フェア」を磯子区社会福祉協議会・港南区社会福祉協議会・ウィリング横浜との共催で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

Ⅲ 研修事業

1. 研修の開催

(1) 地域福祉活動研修

小地域で住民や地域団体が主体となる「支えあい・助け合い」を目的とした活動への支援を目的とした研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できませんでした。

(2) 令和2年度南区地域活動発表会

第3期南区地域福祉保健計画地区別計画の推進を目的に、地区の取り組み及び課題を共有し、南区全体で取り組みを進めるための研修を、南区役所と共催で「南区地域活動発表会」を実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言下での開催となったため、一般公開はせず関係者のみで行いました。

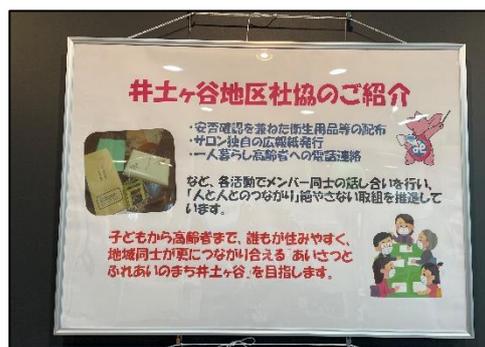
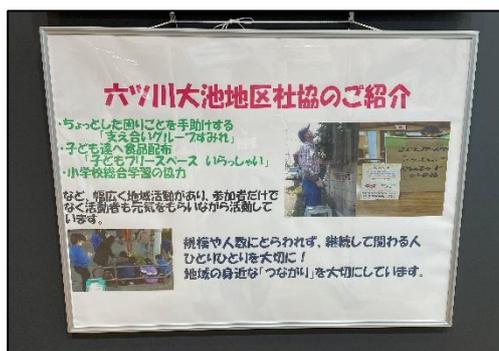
- ・日 時：令和3年3月16日（火）
- ・場 所：南公会堂（みなみん）講堂
- ・テーマ：「南区地域活動発表会～地域の元気な活動を紹介します～」
- ・講 師：時任和子氏（NPO 法人夢・コミュニティネットワーク代表）
- ・内 容：地区社協の取り組み発表（井土ヶ谷地区、六ツ川大池地区）
南区役所補助金助成団体の発表
（ギターアンサンブル四季、六つ川小農園活動プロジェクト）
講師・発表団体とのパネルディスカッション
講師からのコメント



今回は一般公開で開催できなかったため、関係者のみで実施した様子の「動画配信」及び「パネル展示」を別途行いました。

＜パネル展示＞

- ・日 時：令和3年3月22日（月）～26日（金）10時～15時
- ・場 所：南区役所1階ギャラリー



＜動画配信＞

YouTube横浜市公式チャンネル、横浜市南区役所（南区地域活動発表会）のホームページにて公開しています。



(3) 会員研修

南区社会福祉協議会の会員である団体及び個人を対象に、地域福祉活動を継続または始めるために必要な知識等の向上を目的とした研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できませんでした。

(4) 実習生の受け入れ

社会福祉士相談援助実習の実習生を受け入れました。

- ① 神奈川県立保健福祉大学 社会福祉学科 1名 (7月～9月)
- ② 関東学院大学 社会学部 現代社会学科 1名 (7月～9月)



IV地区社協活動の支援

1. 地区社会福祉協議会支援【重点】

(市社協補助金・基金果実・共募配分金・年末配分金) 6,565 千円【3,444 千円】

(1) 地区社協分科会（会長・事務局長合同会議）、事務局長会議の開催

地区社協活動の活発化と情報や課題を共有するため、定期的に会議を開催しました。

①地区社協分科会（会長・事務局長合同会議）P7 掲載

②地区社協事務局長会議

回数	開催日、場所	主な議題	備考
第1回	令和2年6月26日（金） トモニー多目的研修室	(1)南区地域福祉保健計画について (2)グループワーク「緊急事態宣言下での地区社協活動、宣言解除後の地区活動の状況について」 (3)地区社協「状況書」作成について (4)地区社協役員研修 他	事務局長、事務局次長が出席
第2回	令和2年10月23日（金） トモニー多目的研修室	(1)南区地域福祉保健計画について (2)地区社協検討会について (3)市社協及び区社協主催研修の参加について (4)南区福祉功労者表彰について 他	会長会議と合同開催
第2回	令和2年12月25日（木） トモニー多目的研修室	(1)南区地域福祉保健計画について (2)市社協及び区社協主催研修の参加について (3)区社協補助金について 他	事務局長、事務局次長が出席

令和2年度は、年5回の会議を開催する予定でしたが、年度当初より「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため、分科会（会長・事務局長合同会議）2回について、中止しました。

(2) 地区社協役員研修

地区社協の運営支援の一環として、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止をしている地区社協活動について、地区社協の手引きにもとづき、地区社協が実施する事業についての見直しや他地区との情報交換等を目的に、地区社協役員（主に会長・事務局長や事務員）を対象とした研修を開催しました。

- ・ 日 時：①令和 2 年 8 月 19 日（水）10 時～12 時
②令和 2 年 8 月 21 日（金）10 時～12 時
- ・ 場 所：南区福祉保健活動拠点 多目的研修室
- ・ テーマ：「新しい生活様式に則した地域活動のすゝめ」
- ・ 説明者：南区社会福祉協議会事務局（事務局長・事務局次長・業務担当職員）
- ・ 参加者：33 名（内訳：①15 名 ②18 名）
- ・ 内 容：①新型コロナウイルス感染症影響下での地域活動について
②各地区の状況報告・情報交換
- ・ 結 果：「コロナ禍での活動紹介で今後の活動の参考になった」「自分の地区でも参考になる事例が多くあったので、実施していきたい」「誰のために、何のためにと、もう一度基本に戻って考えていきたい」といったお声をいただいた。

(3) 区社協職員の地区担当制の充実と地域アセスメントシート等の活用

地区社協活動の充実に向けて助成を行うとともに、小地域活動推進のために職員の地区担当制を充実させ支援に努めました。また地区支援記録を活用し、きめ細かく支援を行いました。

①地区社協活動費の助成

運営費（市社協）

@50,000 円×16 地区（800,000 円）

育成費（区社協・共同募金等財源）

@100,000 円×16 地区（1,600,000 円）

②地区社協事業費助成（共同募金・年末たすけあい募金財源）

（内訳は P.29 掲載） 16 地区 助成総額 1,490,000 円

③南区地域福祉保健計画地区計画推進費助成（賛助会費財源）

16 地区 助成総額 2,400,000 円

④地区担当職員制を活用した地区社協事業への参加・支援等

- ・ 第 3 期地区別計画推進振返り及び第 4 期策定プロジェクト会議
各地区 1 回実施
- ・ 総会・企画委員会、検討会・実施事業などの支援 を行いました。
（別表参照）

⑤地区アセスメントシート及び地区社協支援計画の作成（16地区）

地域の資源情報（アセスメントシート）及び地区社協支援計画を作成し、地区の特徴や課題等を把握しながら南区役所や地域ケアプラザと連携して、きめ細やかな支援を行いました。

2 地域の見守り体制構築に向けた支援

各地区の地域や学校等で展開された地区社協と関係機関による認知症サポーター養成講座の実施に向けて協力し、認知症の普及啓発を進めるとともに、地域で見守り、支えあえる体制の構築に向けた支援も行いました。



地区名	参加・支援した主な事業	訪問回数
お三の宮	子育てサロンほっとママ・高齢者サロンひだまり・お三の宮健康体操・ひとあし早いクリスマス会・ふれあい食事会（持ち帰り）等	24
太田	みんなの健康づくり事業等	10
太田東部	広報編集委員会・ひよっこり茶屋等	30
寿東部	子育てサロンサン・サンデイ・健康体操等	21
中村	広報編集会議、子育てサロンぽっかぽかランド へいらくひよこクラブ等	23
蒔田	検討委員会、企画委員会、子育てサロン「あかいくつ」、ふれあいサロン 実行委員会 広報編集委員会 他	16
堀ノ内・睦町	暮らしひろがれ堀睦企画委員会、広報紙「ほがらか」編集委員会、子育て サロン「のびのび」他	22
井土ヶ谷	地区社協役員会議、子育てサロン「豆の木」、高齢サロン「いこい」、 高齢者食事会「カトレア会」、広報編集委員会 他	21
南永田山王台	広報紙「さか道ころころ」編集委員会、子育てサロン「つくしんぼ」、 高齢者食事サービス「すみれ会」 他	35
北永田	北永田サロン、認知症サポーター養成講座、永田小「ボッチャ&ペタンク 大会」、めざみとの餅つき大会、地区民児協定例会 他	30
永田みなみ台	永田みなみ台地区見守り隊、認知症サポーター養成講座、百人一首のつど い、子育てサロン「まんま」、地区社協役員会、地区民児協定例会 他	46
六ツ川	六ツ川みまもりたい、異世代交流サロン「カーネーション」、みんなの居 場所「ひだまり」、六ツ川地域のおでかけを考える会議、朝市サロン 他	25
六ツ川大池	支え合いグループ“すみれ”、地区社協勉強会、子どもフリースペース「い らっしゃい」、すくすくひよっ子 他	19
本大岡	地区社協三役会・事務局会議、地区社協各委員会定例会、大岡川ふれあい サロン、役員・委員研修 他	17
大岡	大岡地区連絡協議会、大岡ふれあいサポート定例会、 健康ウォーク、大岡クイズラリー他	16
別所	敬老食事会（配食）、スマイルサポート別所定例会、ボッチャ会議打合せ 地区社協三役会 他	20

(3) 「見守り・つながり」「交流・居場所」「生活支援」を目的とした活動への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の活動を休止あるいは活動を終えた団体もありました。「新しい生活様式」の即した活動の新たな形の提案や事例の紹介、団体へのヒアリングを通じて再開に向けた支援を行いました。

①「活動再開に向けて、頭を悩ませているみなさまへ」(コロナ禍での活動再開に向けたチェックリスト、活動事例紹介資料)の作成及び配付

②ちよこっとボランティア団体(生活支援)へのヒアリングと結果報告書の作成及び配布

2. 地域ケアプラザ支援

(市社協補助金) 88 千円【84 千円】

(1) 地域ケアプラザ等の地域交流事業等への支援

区社協の各地域ケアプラザ担当職員が、地域ケアプラザ等の地域交流事業等に参画し、運営の支援を行いました。

(2) 地域ケア施設連絡会の開催 (10 回)

区役所や区内地域ケアプラザ等と協働して、地域支援の方法などについて情報交換を行いました。

特にコロナ禍で地域活動の再開にむけた情報や、貸館の利用再開についての工夫などを重点的に共有しました。

生活支援コーディネーターと合同で、前年度未実施だった地域福祉保健計画に関する研修を行い、ケアプラザと地域福祉保健計画の関係を確認しました。

また、区内地域ケアプラザのサブコーディネーター、及びコーディネーターと SNS の利用についての研修を実施し、各施設が PR ツールとして使用する際の特徴や注意点を確認しました。

(3) 地域ケア施設連絡会 令和 2 年度地域支援研修

地域交流コーディネーターおよびサブコーディネーターを対象として、地域支援研修 (SNS 研修) を実施しました。

【基礎編】令和 2 年 12 月 7 日 (月)

【発展編】令和 3 年 2 月 1 日 (月)

【講師】NPO 法人埼玉情報センター 秋本 創氏

3. 南区 地域活動交流 CO・生活支援 CO 合同連絡会 (1 回)

11 月に地域ケア施設連絡会と生活支援コーディネーター連絡会の合同連絡会を開催し、職種を超えて連携できるように、研修や情報交換等を行いました。例年は年に 2 回の合同会議ですが、令和 2 年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、1 回の実施となりました。

4. 地域ケアプラザ等のコーディネーターを対象とした研修の実施

(1) 地域福祉保健計画について

11 月 16 日 (月) に開催した「南区 地域活動交流 CO・生活支援 CO 合同連絡会」にて、「地域づくりに地域福祉保健計画を生かす」というタイトルで横浜市社会福祉協議会企画課長より、ケアプラザ事業と地福計画の活用についての説明を受けました。あわせて既存の活動等を活かして取り組めそうなこと等意見交換を実施しました。

VI 地域福祉保健計画の推進

1 第3期南区地域福祉保健計画の推進・第4期南区地域福祉保健計画の策定 (基金果実) 528 千円【558 千円】

区役所、地域ケアプラザと連携し第3期計画の振返りと第4期計画を策定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第4期計画の策定が延期となりました。

- (1) 地区別計画「第3期振返り・第4期策定プロジェクト会議」の開催支援
(各地区1回開催、16地区社協主催)
- (2) 地域福祉保健計画の理解促進に向けたリーフレット「確認しておきましょう！地域福祉保健計画」の作成と配布
- (3) 福祉保健関係団体ネットワーク(3団体)の開催支援
- (4) 地区計画推進費の助成(16地区総額2,400,000円)
- (5) 各地区 事業実施のための企画委員会などへの参加
- (6) 「地域支援スタッフ会議」「地区カンファレンス」への参加(16地区)
- (7) 「令和2年度南区地域活動発表会」の開催(2月16日) ※再掲
- (8) 「第4期に向けた骨子策定」について地域情報紙「タウンニュース」への掲載記事製作及び配布



「タウンニュース」紙面での広報

← 「第3期振返り・第4期策定プロジェクト会議」開催の様子

2 子育て関係団体のネットワークづくり

「子育てもっとネット～子育てに関わる支援者の情報交換会～」への参加や、子育て支援を行なっている市民団体（南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹など）との連携等、子育て関係団体とのネットワーク作りに取り組みました。



Ⅶ ボランティア活動支援・福祉教育・助成金

1 ボランティアセンターの機能充実【重点】 (市受託金) 2,222 千円【2,358 千円】

(1) 南区ボランティアセンターの運営

VCヘルパー（パソコンを使ったコーディネートシステム）を活用して相談・登録・紹介・調整を行いました。

① ボランティア依頼	162 件	小修繕ボランティア「リリーフクラブ」への紹介を含む
------------	-------	---------------------------

② 個人ボランティア登録	年度	令和元年度		令和2年度	
	性別	男性	女性	男性	女性
	新規	15 人	25 人	13 人	30 人
	累計	191 人	236 人	69 人	89 人

③ 新規団体登録 0 団体 合計 84 団体

④ ニーズ対応率

年度	依頼件数	紹介件数	対応率
令和2年度	162 件	110 件	67.9%

(2) 南区ボランティアセンター運営委員会の開催

開催日、場所、人数	主な議題	結果
令和2年8月7日 ※書面評決	・令和2年度善意銀行配分について	承認
令和2年11月26日(木) 場所：トモニー多目的研修室 委員7名参加	・南区ボランティアセンター事業計画の確認について ・ボランティアセンター事業報告と今後の予定 ・南区善意銀行2年度配分について	承認
令和3年3月5日(木) ※当初開催予定日	・南区ボランティアセンター今年度事業の報告 ・次年度以降の善意銀行配分について	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止

2 ボランティア情報の発信

(市受託金) 170 千円【185 千円】

ボランティア活動への関心を高めるために、ボランティア募集や活動紹介を定期的に行いました。

- (1) 広報啓発・情報紙の発行
- (2) ボランティアセンターだより「ボラび!!」の発行
（「社協みなみ」と同時発行）2回（各88,650部）
- (3) 「ニード情報」の発行（年3回）
- (4) 南なんデーでのボランティア活動情報の提供



3 南区ボランティア連絡会の活動支援

(1) 南区ボランティア連絡会の活動支援

(2) 「南区ボランティアフェスタ」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施。

(3) 南区社協ホームページでの紹介

○ボランティア連絡会加入グループの紹介

○ボランティア連絡会活動紹介

4 テーマ別、対象別ボランティア講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施。

5 災害ボランティアネットワーク会議の開催 **(市社協補助金) 50 千円【48 千円】**

災害時に区民への支援活動を行おうとする団体や個人が、平常時から幅広い交流などを行い、災害時のボランティア活動が円滑に進むことを目的に活動をしました。

活動については、運営委員を選出し、災害ボランティアセンター運営のシミュレーションの企画や組織体制の強化を目的に行う運営委員会に加え、役員会も実施しました。

(1) 災害ボランティアネットワーク会議総会の実施

日時：令和2年5月28日（木）

場所：南区社会福祉協議会 団体交流室

内容：令和元年度事業報告及び収支報告について

令和2年度事業計画及び収支予算（案）について

その他：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面での決議も可としました。

(2) 運営委員会（毎月1回開催）

※4・5・1月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

2・3月はオンライン(Zoom)で実施。

- ・研修会（災害ボランティアセンター・シミュレーション訓練）について
- ・災害ボランティアネットワークPR活動について 等

(3) 学習会・研修会(災害ボランティアセンター・シミュレーションの実施)

- ・内部研修 災害ボランティアのIT活用研修

日時：令和2年9月10日（木） 参加者：14名

- ・内部研修 kokua 障害理解講座

日時：令和2年10月8日（木） 参加者：15名

- ・内部研修 徒歩帰宅者支援拠点運営訓練

日時：令和2年11月12日（木） 参加者：12名

- ・内部研修 災害ボランティアセンター設置シミュレーション訓練（情報伝達訓練）

日時：令和2年12月11日（金） 参加者：14名

(4) 災害ボランティアセンター・運営マニュアルの検討

運営マニュアルをシミュレーション訓練や定例会で活用・検討しました

(5) 広報（PR）活動

地域防災拠点の運営委員会や訓練に参加し、防災備蓄品の紹介やPRチラシを活用しながら広報活動に取り組みました。

(6) 他団体との協働

①区役所との協働

災害ボランティアセンター設置時の役割や情報共有の様式等の確認を行いました。
また、災害ボランティアセンター設置にあたって、ボランティア派遣の情報伝達訓練を行いました。

②神奈川県・横浜市及び他区災害ボランティアネットワーク連携

- ・横浜市災害ボランティアネットワーク総会及びブロック連絡会
- ・横浜市災害ボランティアネットワーク・ブロック別連絡会（鶴見・神奈川・西・中・南区） ←新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(7) その他

① 会員会費制度の実施

② 災害ボランティアセンター運営のための資材の見直し。購入。

6 福祉教育の推進

(市社協補助金・基金果実) 52千円【141千円】

(1) 福祉教育事業への支援

小学校・中学校や公的機関が行う福祉教育事業に講師・ボランティアを紹介、また福祉機材の貸し出しや福祉学習授業プログラムづくりへの支援を行いました。

①福祉教育事業（授業）の実施

事業依頼先	依頼件数	対応コマ数	調整数	延参加人数	内 容
小学校	2	2	35	105	高齢者疑似体験 地域を学ぶ総合学習
中学校	2	4	70	616	障がい理解のための講話・点字 車いす体験
高 校	0	0	0	0	
地 域	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
合計	4	6	105	721	

〈福祉機材の貸し出し実績〉

車いす：46台 アイマスク：0枚 白杖：0本

スロープ：2セット 点字器：170セット 高齢者疑似体験セット：17セット

(2) 先生のための福祉講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施。

7 南区ふれあい助成金の配分（共同募金事業への協力及び配分を含む） （市社協補助金・共募配分金・年末配分金）9,863千円【10,817千円】

地域で活動する福祉・保健団体に対して、活動費の一部を助成しました。
また、助成金の寄付、利用について説明会・周知依頼を行いました。

（1）南区ふれあい助成金配分審査委員会の開催

【第1回】

- ①日 時 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面表決
- ②内 容 審査基準、配分団体審査他
- ③参加者 6名

【第2回】

- ①日 時 ※新型「コロナウイルス感染拡大防止のため、書面報告
- ②内 容 次年度助成金制度について他
- ③参加者 6名

（2）周知方法

- ①「社協みなみ」への掲載
- ②ホームページでの動画配信

※例年は説明会を開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画配信を行いました。また動画視聴が困難な方のみを対象とした動画上映会を実施しました。

（3）配分実績

〈共同募金配分〉

- ① 一般配分
配分総額 1,164,400円
- ②年末たすけあい配分
配分総額 2,666,000円

〈南区ふれあい助成金配分〉

- ① 年間事業
配分件数 132件（配分総額9,626,000円）
- ② 新規立上げ事業
配分件数 1件（配分総額40,000円）

〈地区社協事業費配分〉

地区名	共同募金配分金		年末たすけあい配分金	
	配分金額	対象事業	配分金額	対象事業
お三の宮	80,000	グランドゴルフ大会	50,000	ひと足早いクリスマス会
太田	80,000	高齢者食事会（1団体）助成	-	（未申請）
太田東部	80,000	高齢者食事会（ドンドン会）	50,000	年末イベント助成金事業
寿東部	80,000	子育てサロン・健康づくり活動運営支援	50,000	お達者塾等の開催
中村	80,000	助成金事業（高齢者食事会・子育てサロン・連合・老人会）	-	（未申請）
蒔田	80,000	一人暮らし高齢者日帰り旅行	50,000	太巻きづくり・健康麻雀大会
堀ノ内睦町	80,000	高齢者食事会（たかね会・むつみ会）	50,000	お笑い演芸会・新年もちつき大会又は大運動会・施設見学
井土ヶ谷	80,000	認知症講座・ボランティア交流会・お茶会・高齢者給食会	50,000	いきいき長生き推進事業
南永田山王台	80,000	子育てサロン「つくしんぼ」・陶芸教室	50,000	高齢者食事サービス「すみれ会」
北永田	80,000	子育てサロン「ぼてと」	50,000	NPO「めざみ」もちつき交流会
永田みなみ台	30,000	サポート委員会（百人一首の集い、名簿更新）	50,000	おしゃべり会（新年会）
六ッ川	50,000	六ッ川演芸大会・保健体操会	-	（未申請）
六ッ川大池	80,000	麻雀サロン・民生委員研修会・すくすくひよっ子	50,000	地区社協広報紙（2月発行分）
本大岡	80,000	にこにこウォーク	50,000	収穫祭（農業体験）
大岡	50,000	大岡朋の会（白朋苑ボラ）・中里友の会（食事会）	50,000	大岡地区音楽祭
別所	80,000	高齢者食事会	50,000	ふれあい祭り・グラウンドゴルフ大会
合計	1,170,000		650,000	

※上記配分対象事業は、申請時点のものです。

〈南区ふれあい助成金配分〉

I 要援護者支援区分			
1) 集いの場活動			
NO	団体名	申請事業	配分金額
1	自立支援の会 グループねこの手	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	400,000
2	ホットサロン 大丸	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	300,000
3	サロン 花もよう	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	243,000
4	六ツ川野外サロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	180,000
5	前里町ふれあいサロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	180,000
6	サロン おおの	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	180,000
7	パワーアップいきいきクラブ 憩いの家	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	150,000
8	子育てサロンぽてと	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	120,000
9	ふれあい友の会	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	120,000
10	南唐のあったかサロン	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	120,000
11	市民グループ「子どもと本」	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	120,000
12	山手ふれあい給食	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	120,000
13	朝市サロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	100,000
14	サロン花籠	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	100,000
15	カトレア会	会食会・こども食堂・地域食堂	95,000
16	ルピナス文庫	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	95,000
17	土曜学習サポート	若者支援（フリースペース・居場所づくり・学習支援）	80,000
18	子育てサロン ほっと mom	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	80,000
19	ボランティアグループ なごみ	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	80,000
20	サロンひだまり	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	80,000
21	六ツ川おしゃべり会	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
22	ふれあい昼食会	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
23	中一園芸サロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	80,000
24	カフェとおりみち	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	80,000
25	原の台ふれあいサロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	80,000
26	歌声サロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	80,000
27	子どもフリースペース "いらっしゃい"	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
28	子育てサロン サン・サンデイ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	80,000
29	太田東部ドンドン会	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
30	大岡地区子育てサロンほっぺ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	80,000
31	むつみ会	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
32	たかね会	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
33	子育てサロン つくしんぼ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	80,000
34	横浜パークタウン 「助け合いの会・こだま」	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
35	中里こどもふれあい広場 いきいき	会食会・こども食堂・地域食堂	80,000
36	子育てサロン「ブーブーくらぶ」	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	75,000
37	にっこりカフェ	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	70,000
38	大樹	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	70,000
39	三春台ふれあいサロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	65,000
40	交流サロンカーネーション	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	60,000
41	子育てサロン まんま	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	60,000
42	サロン・みちくさ	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	60,000
43	子育てサロン「豆の木」	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	60,000
44	みんなの居場所「いっぷく処」	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	60,000
45	高齢者サロン「いこい」	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	55,000

46	サロンかみさん	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	50,000
47	たんぼぼ会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
48	すみれ会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
49	中里友の会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
50	子育てサロン あかいくつ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	50,000
51	大岡川ふれあいサロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	50,000
52	ぼっかぼかランド	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	50,000
53	ちとせ会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
54	やまゆり会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
55	夢見会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
56	本大岡 子育てサロン さくらんぼ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	50,000
57	白梅会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
58	みんなのカフェメロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	50,000
59	みんなの居場所「こもれ日」	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	50,000
60	南太田ふれあいサロン	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	50,000
61	さくら会	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	50,000
62	三春会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
63	あやめ会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
64	白菊会	会食会・こども食堂・地域食堂	50,000
65	永田歌声広場	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	40,000
66	へいらく ひよこクラブ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	40,000
67	病児と家族のおもちゃと遊びの ボランティア しゃぼん玉	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	40,000
68	子育てサロン すくすくひよっ子	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	40,000
69	子育てサロン ばんだ	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	40,000
70	井土ヶ谷サロン幸励	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	30,000
71	みんなの居場所「絆」	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	20,000
72	子育てサロン のびのび	子育て支援活動（支援者が主催する活動）	20,000
73	健康サロン” やすらぎ”	サロン・ミニデイサービス・茶話会・認知所カフェ等	10,000
2) 家事・生活支援活動			
74	NPO 法人 ひだまりの森	電話相談	400,000
75	特定非営利活動法人いのちとこころ	相談支援・傾聴活動	300,000
76	横浜りすの会	電話相談	160,000
77	リリーフクラブ	住民同士の助け合い活動	160,000
78	支え合いグループすみれ	住民同士の助け合い活動	160,000
79	スマイルサポート別所	住民同士の助け合い活動	80,000
80	生活応援団 ちょぼら	住民同士の助け合い活動	50,000
81	大岡ふれあいサポート	住民同士の助け合い活動	50,000
3) 配食活動			
82	グループ” まんな”	配食	50,000
4) 送迎活動			
83	移動サービス W.Co. ららむーぶ南	送迎	300,000

II 障害児者支援区分

1) 障害児者支援活動・当事者活動

84	泉の会 でんでん虫クラブ	訓練会	100,000
85	泉の会	リハビリ目的等の集い事業	100,000
86	りんどう倶楽部	リハビリ目的等の集い事業	90,000
87	親の会・ぶるーぽびい	余暇支援・青年学級	60,000
88	たんぼぼクラブ	余暇支援・青年学級	60,000
89	スワロー	余暇支援・青年学級	60,000

90	まるわの会	リハビリ目的等の集い事業	50,000
91	スポーツリハみなみ	リハビリ目的等の集い事業	50,000
92	でんでん虫ブラザーズ	リハビリ目的等の集い事業	48,000
93	南区地域精神保健家族会(みなみ会)	リハビリ目的等の集い事業	40,000
94	南区視覚障害者福祉協会	視覚・聴覚障害者支援	40,000
2) 宿泊・日帰りハイク活動			
95	一般社団法人 なでしこ会	宿泊・日帰りハイク	50,000
3) 視覚・聴覚障害者支援			
96	ボランティアグループ「ピノキオ」	視覚・聴覚障害者支援	50,000
97	点訳グループ「もみじ」	視覚・聴覚障害者支援	50,000
98	きらく会	視覚・聴覚障害者支援	50,000
99	誘導ボランティアグループ つばさ	視覚・聴覚障害者支援	50,000

Ⅲ 福祉のまちづくり区分			
100	さくらんぼ会	施設病院支援ボランティア	40,000
101	ボランティアグループ 傾聴みなみ	施設病院支援ボランティア	40,000
102	とも南日本語教室	外国人支援	40,000
103	IE みなみ 日本語教室	外国人支援	40,000
104	ジャリンコ KIDS	子育て支援活動(自主的な活動)	40,000
105	たんぼぼ団	子育て支援活動(自主的な活動)	40,000
106	にほんごでスマイル	外国人支援	40,000
107	みなみ・おもちゃ病院	おもちゃドクター	40,000
108	クラブキッズ	子育て支援活動(自主的な活動)	40,000
109	たんぼぼの会	外国人支援	40,000
110	お話ポケットクラブぐり&ぐら	本の読み聞かせ	40,000
111	特定非営利活動法人 CAP かながわ	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
112	わたぼうし教室 横浜	外国人支援	40,000
113	南区三曲会	地域住民交流(お祭り、運動会等)	40,000
114	NPO 法人 楽しい日本語の会	外国人支援	40,000
115	星の子探検隊	子育て支援活動(自主的な活動)	40,000
116	お三の宮ふれあい食事会	要援護者支援区分の条件に満たない活動	30,000
117	親子でふれあい南なんデー	地域住民交流(お祭り、運動会等)	30,000
118	四季の会	要援護者支援区分の条件に満たない活動	30,000
119	ママ'S CAFÉ	地域住民交流(お祭り、運動会等)	30,000
120	にこにこ会	子育て支援活動(自主的な活動)	30,000
121	南区子ども会連絡協議会	地域住民交流(お祭り、運動会等)	30,000
122	みなみ遊ぼう会・ぷらねっと	地域住民交流(お祭り、運動会等)	30,000
123	あいの木きょうしん	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	30,000
124	ジョナサン会	要援護者支援区分の条件に満たない活動	25,000
125	六ツ川四丁目 フルーツバスケット	子育て支援活動(自主的な活動)	25,000
126	げんきっこクラブ	子育て支援活動(自主的な活動)	20,000
127	ちっちゃいカンガルーサークル	子育て支援活動(自主的な活動)	20,000
Ⅳ 健康増進区分			
128	ステージみなみ	施設等を訪問する特技ボランティア	10,000
129	みなみマジックたのしい会	施設等を訪問する特技ボランティア	10,000
130	響-HIBIKI-	施設等を訪問する特技ボランティア	10,000
131	横浜歌謡クラブ	施設等を訪問する特技ボランティア	10,000
132	井土ヶ谷体操教室	健康増進事業	10,000

新規立ち上げ			
1	ひだまり	子どもの居場所	40,000

8 善意銀行の配分と受入

(寄付金) 1,037 千円【789 千円】

区民の皆さまから金品の寄付を受け、南区で活動している「ボランティア・NPO等市民活動団体」「障がい当事者・家族団体」等に配分を実施しました。

① 寄付金

	件数 (件)	寄付金額 (円)
個人	11	412,217
団体	11	282,140
合計	22	694,357

② 物 品

個人	10	(寄付内容) パソコン、マスク、おもちゃ、 文房具、手芸品、図書カード、 電子レンジ、雑巾、紙おむつ他
団体	4	
合計	14	

配分内訳

	団体名	使 途	配分額
1	中里友の会	備品購入(2 升炊き炊飯器)	66,000
2	六ツ川大池地区社会福祉協議会	備品購入(スタッフ用ジャンパー・ポロシャツ)	35,000
3	NPO 法人中途障害者地域活動支援センター フレンズ南	備品購入(大型テレビ)	100,000
4	NPO 法人 おもいやりカンパニー	備品購入(複合機)	100,000
5	南永田山王台地区社会福祉協議会	備品購入(プロジェクター・HDMI ケーブル)	100,000
6	障がい理解啓発グループ Kokua	備品購入(ビデオカメラ・HDMI ケーブル)	28,000
7	ボランティアグループ「ピノキオ」	備品購入(パソコン)	50,000
8	カフェ とおりみち	備品購入(物置)	48,000
9	南区子ども連絡協議会	団体活動運営費	100,000
10	南区ボランティア連絡会	団体活動運営費	100,000
	合計		727,000



Ⅷ あんしんセンター事業・移動情報センター事業・送迎サービス事業

1 権利擁護事業の推進 【重点】 (市社協受託金・利用料) 925 千円【1,185 千円】

高齢者や障がい者の権利や財産を守る権利擁護事業を実施するために設置された、「南区社協あんしんセンター」の機能の充実と事業への理解および利用の促進に努めました。

①初回相談

	高齢者	障がい者	その他	合計
元年度	88 件	29 件	6 件	123 件
2 年度	45 件	23 件	2 件	70 件

【相談者内訳】

行政 39 件・ケアマネジャー13 件・包括支援センター10 件・親族等 5 件
本人 1 件・その他 1 件

②利用状況

内 容	元年度 (2 年 3 月末)	2 年度 (3 年 3 月末)	前年度比較
定期訪問・金銭管理サービス	129 件	129 件	増減なし
預金通帳等財産関係書類など 預かりサービス	8 件	7 件	1 件減
利用者 (契約者数)	129 名	129 名	増減なし

※増減なしの内訳は、新規契約 34 名、終了 34 名。

【終了事由内訳】

死亡 11 名 入所 10 名 本人申出 6 名 後見制度へ移行 4 名 他区移管 3

【後見制度への移行内訳】

補助 1 名 保佐 2 名 後見 1 名

③研修の開催

権利擁護にかかる成年後見制度の勉強会を、区役所職員、地域包括支援センター職員、基幹相談支援センター職員、区社協職員を対象に開催しました。

令和 3 年 3 月 18 日 (木) トモニー 団体交流室

講師：弁護士 松木 崇氏(横浜仲通り法律事務所)

参加者：13 名

※南区社会福祉士部会勉強会として開催



④ 権利擁護講座「やさしい成年後見講座」の開催

浦舟地域ケアプラザと共催で、成年後見制度についての講座を開催しました。

令和2年11月20日（金）

「やさしい成年後見講座」

講師：大野 高志氏（司法書士・大野司法書士事務所代表）

参加者：19名

会場：トモニー 多目的研修室



⑤ 市民後見人の活動支援

市民後見人の活動の支援の一環として、2月に予定されていた市民後見サポートネットは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

⑥ 関連機関との連携

- ・地域包括支援センター連絡会・社会福祉士部会への参加
- ・成年後見サポートネットワークへの参加
- ・エンディングノート（南区版）の配布



2 移動情報センター

（1）南区移動情報センターの運営

（市社協受託金）10,412千円【8,247千円】

事業委託を受けて、障がい児・者のための移動に関する相談窓口を運営するとともに、「移動情報センター」事業への理解促進に努めました。

①相談窓口の運営（相談件数：108件）

②推進会議の実施（3回）

※内1回は書面報告のみ

※当初予定していた「ガイドボランティア交流会」・

「ボランティア入門講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

③制度説明の実施（2回）

（2）ガイドボランティア事業

（市補助金）1,452千円【1,945千円】

ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティアのコーディネートや育成、ガイドボランティアへの奨励金の支払い等の事務を行いました。

①支援対象者登録：62名

②ガイドボランティア登録件数：65名



3 送迎サービス

(1) 送迎（外出支援）サービスの実施（市社協受託金・利用料）2,781千円【4,388千円】

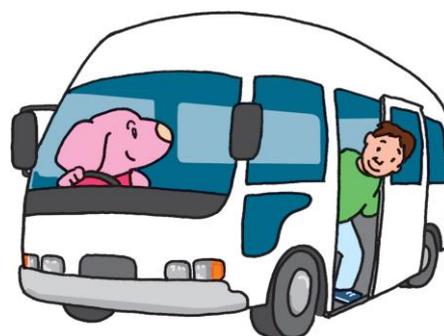
一般の交通機関の利用や家族の対応だけでは外出することの困難な高齢者や障がい者、難病患者を対象として実施しました。新型コロナウイルスの影響により、ボランティアの年齢制限が設けられ、活動できるボランティアが大幅に減少しました。また、4月8日～8月2日まで送迎活動を中止しました。

①送迎サービスの実施（区社協独自事業）

	令和元年度	令和2年度	前年度比較
年間利用回数	264回	8回	256回減
利用実人数	25名	2名	23名減

②外出支援サービスの実施（横浜市委託事業）

	令和元年度	令和2年度	前年度比較
年間利用回数	1132回	48回	1084回減
利用実人数	111名	18名	93名減



Ⅸ 障がい関係事業・児童関係事業・高齢者関係事業

1 障がい者の生活支援の充実

(1) 南区障がい児者団体連絡会への活動支援

- ① 定例会への参加（毎月第1火曜日）※中止あり
- ② 幹事会への参加（毎月1回）※中止あり
- ③ 南区役所庁舎「にこにこ😊みなみ」活動支援（通年）

(2) みなみサマーフレンド 2020 冬事業の開催 （市補助金）114 千円【416 千円】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVD 制作プログラムを実施しました。

- ①参加者と一緒にクリスマス DVD の制作（参加者：23 名）
～動画や写真でみんなと繋がろう！サマフレからクリスマスプレゼントをお届け～
- ②周知・啓発動画の制作
～障がい児者のコロナ禍での生活や気持ちを知ってもらおう～
※学齢期の障がい児夏季余暇活動として例年実施していた集合型のプログラムについては、中止としました。

備考：中村特別支援学校、どんとこい・みなみ職員の皆さま、障害者支援センター職員にご協力をいただきました。

(3) 南区自立支援協議会への参加・協力

南区に生活する障がい児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活を送れるように、区内の障がい児者支援関係団体・機関とともに、事例検討や講演会、連絡会を開催しました。

(4) 南区サンタプロジェクト （協賛金）197 千円【184 千円】

～障がい者地域作業所製品で繋がる地域支援～

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業所製品を通して障がい者施設で働く方々と地域との新たなつながりに向けた取り組みとして、子育て中の親子を中心にプチギフトと障がい者施設を紹介したフォトブックを 610 セット配布しました。

実施にあたっては、横浜南ロータリークラブおよび同クラブ会員の皆様よりご寄付等をいただき、南区内の障がい者南区地域子育て支援拠点、赤ちゃん訪問、こども居場所運営団体を通して、子どもたちやその保護者の方々へお渡ししました。

参加者の方からは、「作業所製品を見にいってみようと思った」、「こういうものを作っていたんだ」などと作業所製品を知るきっかけになったとのお声をいただきました。

※例年実施していた、障がい児者やその家族、子育て中の親子や高齢者と弘明寺商店街内店舗との交流プログラムについては、中止としました。



2 南区子どもの居場所づくりネットワークの運営

(市社協補助金・基金果実) 59 千円【84 千円】

児童虐待(特にネグレクト)やひとり親世帯・生活保護世帯などの保護者の経済的な困窮に加えて、関係性の貧困を含む様々な困難のある世帯などの事例が多い南区の現状を踏まえ、身近な地域での「居場所づくり」と必要な支援の「セーフティネット」の必要性を考慮し、「子どもの居場所」について、課題の整理や情報共有などを定例会で行うとともに、様々な活動を行いました。

(1) 南区子どもの居場所づくりネットワーク定例会等の運営

南区役所と共同事務局になり、毎月第 4 水曜日に定例会を開催、運営しました。また、定例会前には、ネットワーク参加者への提案事項を確認する等、有意義な会議となるよう事務局会議を開催しました。

※ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定例会 10 回開催中オンライン 2 回。事務局会議 11 回開催中オンライン 2 回実施。

(2) 子どもの居場所活動団体交流会の開催

南区内における身近な地域での子どもの居場所づくりの支援の一つである「活動団体の相互支援の機会づくり」の一環として、活動団体の関係づくり及び情報交換を目的に 2 回開催しました。

①第 1 回

開催日 令和 2 年 7 月 3 日 (金) 13:30~15:30

会場 フォーラム南太田 大研修室

参加団体 22 団体 (内 新規立上げ予定 1 団体)

アドバイザー 米田佐知子氏、
事務局 (区役所・区社協)

オブザーバー参加: フードバンク浜っこ南

内 容 ①情報交換

「新型コロナ感染拡大後の、各団体の活動状況と、今後検討していること」
「子どもたちの様子について」

②「南区げんきごはんプロジェクト」について

③オンライン会議体験の呼びかけ



②第 2 回

開催日 令和 3 年 2 月 24 日 (水) 10:00~12:00

場所 オンライン開催 (ZOOM)

参加団体 14 団体

アドバイザー 米田佐知子氏、
事務局 (区役所・区社協)

内 容 ①コロナ禍(緊急事態宣言下)における、こどもの状況や
居場所活動に関する不安・悩み

②活動に向けて工夫している点の共有

(3) 南区げんきごはんプロジェクト

以下の3点を目的として、2回開催しました。

- ① これまで、居場所活動に参加していた子ども達との再会、まだ参加したことのない子どもには居場所活動を知ってもらい、再開後の参加につながるきっかけとする。
- ② 休止中の団体の活動再開のきっかけとなる。
- ③ 居場所がまだ設置されていないエリアへの啓発のきっかけとする。

①第1回

実施期間 令和2年8月下旬～10月

参加団体数 16団体

実施日および場所 プロジェクト参加団体各活動による。

②第2回

実施期間 令和3年1月下旬～3月

参加団体数 14団体

実施日および場所 プロジェクト参加団体各活動による。



(4) 南区子どもの居場所マップの作成

原則南区内における「こどもの居場所」25団体に関するマップの情報を更新し、ホームページにアップしました。

(印刷に関しては区役所が実施。)



(5) 子どもの居場所づくりに関わる相談対応・調整

「子どもの支援活動への寄付をしたい」という区民からの問い合わせに、区役所と共に対応し、子どもの居場所活動団体へ寄付品に関する情報提供を行いました。

3 子育てサロン運営の支援

乳幼児とその保護者が孤立しないための情報交換や友達づくりの場として、支援しました。南区では、16地区全地区で子育てサロンが開設されています。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえながら「With コロナ」の中で、どのような活動方法があるかを念頭に置いた運営支援を行いました。

4 高齢者や交流を目的としたサロン、食事会などの運営支援

仲間づくりや健康づくり、情報交換や地域交流の場を目的にさまざまな活動の場が展開していましたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえながら「With コロナ」の中で、どのような活動方法があるかを念頭に置いた運営支援を行いました。

5 敬老月間高齢者訪問事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訪問は行わず、記念品を郵送させていただきました。

100歳を迎えられた方、区内最高齢者に敬老祝品を郵送しました。
祝品贈呈：28名

6 交通遺児援護事業

(県社協受託金) 50千円【0円】

かながわ交通遺児援護基金設置運営要綱に基づき、区内在住交通遺児に対し見舞金、激励金を交付しました。(令和2年は該当者1名)

なお、令和3年度以降は、本事業は神奈川県社会福祉協議会に業務が移るため、令和2年度で本会における事業は終了となります。



X 生活福祉資金貸付・生活困窮者自立支援施策への対応

1. 生活福祉資金貸付事業

(県社協受託金・基金果実) 3,880 千円【5,784 千円】

(1) 社会的な援護を必要とする方々への各種資金貸付

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯及び離職者に対して、その世帯の生活の維持と安定を図るため、民生委員の協力のもとに低利な資金貸付を実施しました。

また、失業等により日常生活全般に困難を抱えている方に対して、総合支援資金・臨時特例つなぎ資金貸付制度を実施しています。

<新規相談件数>

	令和元年度	令和2年度	前年度比較
生活福祉資金	158 件	179 件	21 件増
不動産担保型生活支援資金	10 件	4 件	6 件減
要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金	1 件	0 件	1 件減
総合支援資金	6 件	2 件	4 件減
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	増減なし
合計	175 件	185 件	10 件増

<新規貸付件数>

	令和元年度	令和2年度	前年度比較
生活福祉資金	76 件	107 件	31 件増
不動産担保型生活支援資金	0 件	0 件	増減なし
要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金	0 件	0 件	増減なし
総合支援資金	0 件	0 件	増減なし
① 生活支援費	0 件	0 件	増減なし
② 住宅入居費	0 件	0 件	増減なし
③ 一時生活再建費	0 件	0 件	増減なし
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	増減なし
合計	76 件	107 件	31 件増

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例貸付の件数は別途記載

2 生活困窮者自立支援事業への対応

(県社協受託金) 16,700 千円【0 円】

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた

生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金及び総合支援資金について、令和 2 年 3 月 25 日より特例措置が設けられ、相談対応を開始しました。

のべ相談対応件数 (令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月末時点) 24,201 件
(うち、受付件数 : 5,171 件)

(2) 生活困窮者への食糧支援

(基金果実) 125 千円【86 千円】

日々の食事や食生活に課題がある生活困窮者からの相談を受け、セカンドハーベスト ジャパン (日本初のフードバンク) と連携し、食糧支援を行いました。

令和 2 年度利用件数 : 63 件 (令和元年度利用件数 : 37 件)

(3) 南区子どもの居場所づくりネットワークへの参画 (再掲 P.38)

(4) 南区役所主催フードドライブ事業への協力

区役所が実施するフードドライブで集まった食品について、困窮者支援への活用を目的に、提供・譲渡に関する覚書を取り交わしました。



XI 福祉保健活動拠点運営・団体事務

1 南区福祉保健活動拠点（トモニー）の運営(市受託金・利用料)15,844千円【16,443千円】

平成28年度より5年間（平成28年4月1日～令和3年3月31日）、横浜市から「指定管理者」として指定を受け運営しました。社協の強みであるボランティア育成・相談・支援・コーディネート機能を活かし、地域住民が日常的に相互に支え合える地域社会の実現に向けた取組を推進します。また、拠点の一角に「トモニーギャラリー」を設け、区内の福祉保健活動団体の活動紹介を行っています。（引き続き、平成3年度より5年間指定管理者として指定を受け運営します）

①利用登録団体数 73団体

②福祉保健活動拠点使用状況（件数）

部屋種別使用件数	令和元年度	令和2年度	前年度比較
団体交流室	501	392	109件減
多目的研修室	502	341	161件減
点字製作室	218	115	103件減
録音室	197	118	79件減
対面朗読室・編集室	335	137	198件減
合計	1,753	1103	650件減

※新型コロナウイルス拡大防止のため、4月1日～5月31日まで拠点貸室中止、6月1日～6月30日まで夜間閉館しました。

③利用登録団体懇談会の開催・避難経路確認の実施

拠点利用団体同士の交流の場をつくり、それぞれの団体のつながりを強めることで福祉活動のさらなる充実を図ることを目的として、拠点利用登録団体を対象に利用団体懇談会と避難経路の確認を行いました。

日 程：令和2年12月18日（金）

場 所：福祉保健活動拠点 多目的研修室

参加団体：35団体

参加人数：29名

2 福祉関係団体への支援

福祉関係の各種団体の事務局を担い、活動を支援しました。

- ①日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部南区地区委員会
- ②神奈川県共同募金会南区支会
- ③南保護司会
- ④南区更生保護女性会
- ⑤南区遺族会

